『林業経済』編集委員会（50 音順）
山本　伸幸（編集委員長）　興梠　克久（副委員長）　原　研二（副委員長）
石崎　涼子　市川　隆史　小川三四郎　佐藤　孝吉　柴崎　茂光　関岡　東生
関　良基　竹本　太郎　立花　敏　寺内　大左　早瀬　悟史　三木　敦朗
山本　美穂
事務局
土屋　俊幸（所長）　大西　純（事務員）

≪編集後記≫

【ふらふら所長の周辺探検　第 10 回】この不定期連載「周辺探検」も節目の 10 回に到達した。記念というわけではないが、2 回に分けて、お茶の水のアイコン、ニコライ堂、正式名称・東京復活大聖堂について書きたい。実はこれまでの 9 回のうち 4 回が宗教関連施設を扱っている（神社 3、儒教 1）が、今回は初めてキリスト教のいわゆる教会である。

上に「アイコン」と書いたが、実は英語の icon は、正教会で「天国の窓」として祈りの媒介となる平面画イコンが由来で、信徒はハリストス（キリスト）、マリア、聖人、聖書上の場面等を描いたイコンを通じて神に祈る。JR 御茶ノ水駅の聖橋口を出ると、今は高層ビル等に囲まれて若干見えにくくなっているが、ニコライ堂のドームはよく目立つ。ニコライ堂の建立は 1891 年なのだが、関東大震災で倒壊して横倒しになった鐘楼により、ドームも崩壊した。その後、内外からの多くの支援を得て、6 年後に再建されたのが現在の重要文化財指定のドームである。ニコライ堂は正確にはロシア正教またはギリシャ正教の教会ではない。正教会または東方正教会は、世界で一つであって、聖書が書かれる言語を単位として、主要な民族あるいは地域（国家）ごとに正教会が成立している。ロシア語で信仰が語られるロシア正教会に対して、日本語の日本正教会も対等な教会としてあるが、「聖自治独立教会」として正式に認められたのは 1970 年のことらしい。

この教会の詳しい歴史に入るのは次回にして、ここでは、現在のニコライ堂の雰囲気をお伝えしておこう。実は、私は境内に入ったのは今回が初めてだったのだが、周囲の喧噪から離れて境内はひっそりとしている。日本有数のビザンチン様式の建築である本堂にお参りするには 300 円の寄付が必要だが、年配の信者が案内してくださり、堂内を見学する。ステンドグラスを通して差し込む日光が主体の堂内は薄暗く、多くのイコンが飾られていること、基本的に信者は立って祈るので、祈祷スタンドが数台、中央前方に並んでいることなどが、見慣れた他宗派の教会とは異なる。聖歌はアカペラで歌われるので、正面右側の聖歌隊席にはオルガン等の楽器も置かれていない。（土屋）

研究所業務日誌（2024 年 8 月）

8 月 6 日　第 3 回編集委員会
8 月 7 ～ 8 日　長崎県森林組合連合会八十周年記念シンポジウム
8 月 20 日　『林業経済』8 月号校了
8 月 21 日　第 2 回運営会議（メールによる）
8 月 29 ～ 30 日　森林所有者による「森林サービス産業」推進事業第 1 回現地検討会
8 月 30 日　第 2 回理事会（みなし理事会）

林業経済（月刊）
〈禁無断転載〉
定価　880 円
（本体価格 800 円）

編集発行人　永田　信

発行所　一般財団法人　林業経済研究所
〒 113-0034　東京都文京区湯島 1-12-6 高関ビル 3A
電　話　03-6379-5015　FAX　03-6379-3210
E-mail : office@foeri.org　URL : http://www.foeri.org/
☆本誌は予約購読を原則とします。購読ご希望の方は直接、当研究所までお申し込みください。
1 年　10,560 円（送料共）（本体　9,600 円、消費税　960 円）
学生および院生は 1 年 5,500 円（本体　5,000 円、消費税　500 円）になります。
購読料の振込先
口座名義人：一般財団法人　林業経済研究所
銀行の場合：三菱 UFJ 銀行　秋葉原支店
普通預金口座　4560904
郵便局の場合：振替口座　00110-1-147629

印刷　株式会社ソウブン・ドットコム　東京都荒川区西尾久 7-12-16